

(様式2(1))

事業所名 グループホーム ふるさと桜

作成日: 令和 1年 11月 23日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	⑥	玄関の開放は建物構造及び併設事業所との関係上難しいかもしれないが、一定時間の開放や職員が付き添っての外出など開放性付与の工夫が必要。	玄関の施錠を開放する時間を設け、開放的な環境を作る。	ユニットの玄関の施錠に関して評価をし、日中の職員の人数が確保できる時間帯に開放を試みる。毎月の会議にて施錠に関する評価を行い、解放の時間帯の増加を図る。同時に離設などのリスクに関する検討を行う。	6ヶ月
2	⑧	権利擁護に関する制度のニーズは将来さらに高まることが予想される。今後職員の研修と資料配備を充実させ、相談や問い合わせへ対応することが必要。	権利擁護、成年後見制度の情報の発信拠点となり、認知症の支援をする住民への情報提供が行えるようになる。	年間の勉強会の内容に成年後見制度の内容を取り入れ、職員の知識向上を図る。また、成年後見センター作成のパンフレットをユニット玄関に置き、来訪者が自由に見ることが出来るよう環境を整える。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。